

NP ハイパー I・II

建築用下地調整塗材【セメント系下地調整厚塗材2種】

NPハイパーI・IIの2製品は、JIS A 6916(CM-2)で
認証された、外壁タイル仕上げ用下地モルタルです。

特長 1

高品質の外壁タイル仕上げ用下地モルタルです

NP ハイパーI・IIは、外壁タイル仕上げを支えるに十二分な、高い接着力とすぐれた
耐久性、および、たわみに変形追従する弾力を兼ね備えています。
コテ塗り・吹き付けいずれも対応できます。

特長 2

完全一材型だから、現場では水を 混ぜるだけで作業が可能

再乳化形粉末樹脂があらかじめ混入された、完全一材型の
均質なモルタルです。現場では水だけを混ぜてください。

特長 3

万全に品質管理された、 JIS A 6916 (CM-2) 認証品

最新の製造プラントとハイレベルの混合技術によって製造
されたNP ハイパーI・IIは、万全に品質管理された
JIS A 6916(CM-2) 認証品です。



NP ハイパー II

NP ハイパー I



認証機関	JPIA
認証番号	JP0307003
JIS番号	JIS A 6916
種類又は等級	CM-2
建築用下地調整塗材	

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1304006 (NPハイパーI) 1304007 (NPハイパーII)
放散等級区分	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

NPハイパーI・IIは、外壁タイル剥落防止工法「LT工法」の適合商品にも認証されています。

標準仕様

製品名	適用部位	適用下地	用途	標準塗り厚	塗り面積	荷姿
NP ハイパーI	内・外壁	RC躯体 PC板	外壁タイル仕上げ用下地モルタル	3~5mm	6.4㎡/袋 (3mm厚)	25kg 防湿紙袋入り
NP ハイパーII	内・外床	ALCパネル	RC躯体の補修・下地調整	5~10mm	3.0㎡/袋 (7mm厚)	

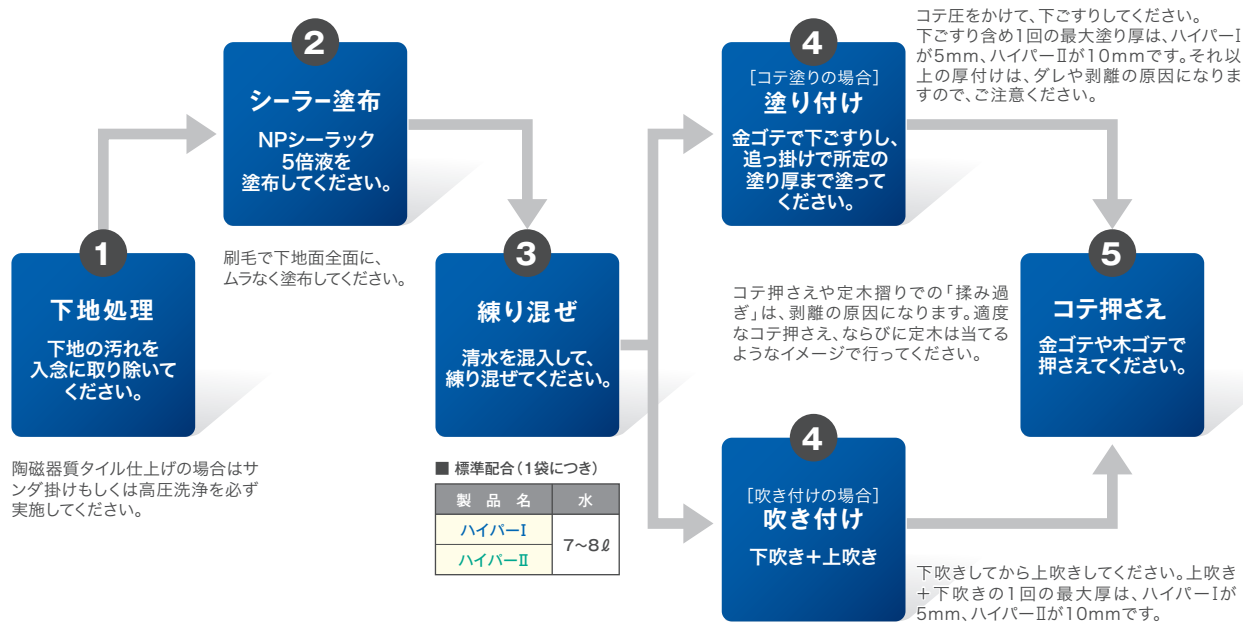
NPハイパーI・IIは、石綿(アスベスト)を一切使用していません。

※露出仕上げでは使用しないで下さい。

今も明日も、塗り壁。 The way of NURI-KABE

日本プラスター株式会社

NP ハイパーI・IIの施工方法



- 早期乾燥の恐れのある強い日射や強風の場合は、シート養生や散水養生を実施してください。
- 気温が3℃以下および35℃以上の場合は、施工を見合わせてください。
- 仕上げ材施工までに、通常7日以上、冬期14日以上養生を実施してください。
- 製造日をご確認ください。有効期限は製造日より6ヶ月です。

NP ハイパーI・IIの性能

試験項目	ハイパーI	ハイパーII	品質規格	
軟度変化(%)	+5	+6	-20~20	
耐ひび割れ性	なし	なし	ひび割れないこと	
耐衝撃性	なし	なし	ひび割れ及びはがれがないこと	
曲げ強さ(N/mm ²)	7.2	5.7	5.0以上	
圧縮強さ(N/mm ²)	30.0以上	21.8	10.0以上	
付着強さ(N/mm ²)	標準養生	2.5	2.2	1.0以上
	低温養生	1.3	1.3	0.7以上
吸水量(g)	1.3	1.7	2以下	
透水量(ml/h)	0.1	0.1	0.5以下	
長さ変化率(%)	0.145	0.140	0.15以下	
仕上材が複数仕上塗材の場合の耐久性(N/mm ²)	なし	なし	割れ、膨れ及びはがれがなく、付着強さが1.0N/mm ² 以上であること	
仕上材が陶磁器質タイルの場合の耐久性(N/mm ²)	1.3	1.3	付着強さが0.6N/mm ² 以上であること	

JIS A 6916 建築用下地調整塗材 試験方法による
※記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません。

凍結融解抵抗性試験

サイクル	相対動弾性係数(%)							
	0	30	60	90	120	150	180	210
ハイパーI	100	101	101	98	98	100	99	98
ハイパーII	100	100	100	102	101	101	101	100

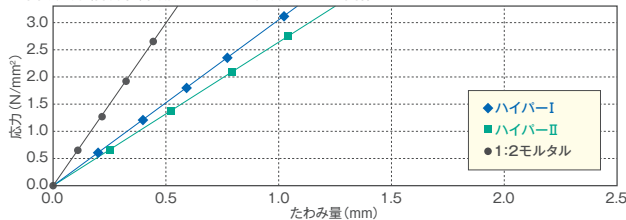
JIS A 6204コンクリート用化学混和剤 附属書2 コンクリートの凍結融解試験方法による

熱冷繰り返し抵抗性試験

製品名	接着強さ(N/mm ²)	破断状態
ハイパーI	1.32	上塗モルタルの凝集破断
ハイパーII	1.23	上塗モルタルの凝集破断

日本建築工学会規格 M-101セメントモルタル塗り用吸水調整材の試験方法による

曲げ応力(弾力性)試験 ハイパー 応力-たわみ曲線



試験体製作 各試料を混練りしたモルタルを、内のり寸法550×150×10mmの金属型枠を用いて成型し、湿空養生で24時間養生した後、脱型し、その後13日間、温度20℃・湿度65%の試験室にて養生して試験体を作製した。
試験方法 試験体モルタルの曲げ強度測定を行い、モルタル変形能力を算定した。

注意事項

〈使用上の注意〉

- 取扱いは必ず保護具(保護手袋・保護眼鏡・マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取扱後の器具類は早めに水洗いしてください。
- 〈応急処置〉
- 目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 〈運送上の注意〉
- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水漏れに注意してください。

〈廃棄上の注意〉

- 都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 〈漏出時の注意〉
- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。